

# 健康福祉委員会資料

## (健康福祉局関係)

### 1 所管事務の調査（報告）

(2) 平成30年度 公益財団法人川崎市看護師養成確保事業団  
「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」について

資料1 平成30年度 公益財団法人川崎市看護師養成確保事業団  
「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」

参考資料1 公益財団法人川崎市看護師養成確保事業団  
「経営改善及び連携・活用に関する方針」

令和元年8月22日

健康福祉局

# 経営改善及び連携・活用に関する取組評価 (平成30(2018)年度)

<b>法人名(団体名)</b>	公益財団法人 川崎市看護師養成確保事業団	<b>所管課</b>	健康福祉局保健医療政策室
-----------------	----------------------	------------	--------------

## 1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

### 本市施策における法人の役割

看護師の確保を促進させるために必要な措置を講じることは、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」によって、地方公共団体の努力義務と規定されており、本市では看護職員の新規養成、定着促進及び再就業支援を柱に看護師の養成・確保に取り組んでいます。  
川崎市看護師養成確保事業団は、(公社)川崎市医師会、(公社)川崎市病院協会、(公社)川崎市看護協会との提携及び協調のもとに、主に川崎看護専門学校を運営し、准看護師を正看護師に養成する事業を行い、本市の看護職員の新規養成の一翼を担う役割を果たしています。

法人の取組と関連する計画	市総合計画と連携する計画等	基本政策	施策
		生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	医療供給体制の充実・強化
	分野別計画	かわさき保健医療プラン	

### 4カ年計画の目標

看護師養成施設運営事業として、准看護師を正看護師に養成するにあたり、川崎看護専門学校を閉校すること及び法人解散する方向性であることを踏まえて、教員の確保など現行の運営体制を維持し、閉校までの間、川崎看護専門学校の安定した運営に取り組むこと。看護職確保対策事業として、市民に看護を身近なものとして理解していただくとともに、看護職を目指す動機付けを行うため、看護に関する普及・啓発に取り組むこと。看護職資質向上事業として、実習病院の実習指導者等に対して、効果的な研修を行うこと。

## 2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	看護師養成施設運営事業	卒業生の看護師国家試験合格率	%	100	100	100	a	A	I
		市内医療機関等への就職率	%	55	60	61	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	68,641	78,085	78,278	2)	(2)	
②	看護職確保対策事業	一日看護体験参加者数	人	50	60	68	a	A	I
		准看護師養成学校及び高校・中学校等への案内数	件	40	40	41	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	1,420	1,420	1,421	2)	(2)	
③	看護職資質向上事業	実習病院の実習指導者等研修参加者数	人	29	45	63	a	A	I
		研修参加者の満足度(5段階評価で4以上)	%	89	93	95	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	1,318	1,318	1,344	2)	(2)	

### 3. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	入学検定料の確保	受験者数(翌年度入学)	人	22	22	24	a	A	Ⅲ
②	入学金及び授業料の確保	翌年度入学者数	人	15	15	11	c	C	Ⅲ
③	管理費コストの増加抑制	管理費コスト額	千円	9,171	9,022	8,802	a	A	I

### 4. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	適正な業務運営	コンプライアンスに反する事案の発生件数	件	0	0	0	a	A	I
②	適切な業務運営	適正な監査の実施	回	1	1	1	a	A	I

(※1)【a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

## 本市による総括

### 各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

全般にわたり、概ね目標を達成し、本市の看護師確保対策に寄与したことから、求められる役割を果たしています。特に、卒業生の看護師合格率については、6年連続で100%を達成しており、本市医療機関への就職率についても目標値を達成したことについては評価できます。  
 そのうえで、今後、学校の運営を行いながら閉校に向けての取り組みを着実に進めていくとともに、法人の解散についても、必要な手続き等を確実に進めていただきたいと思います。

## 2. 本市施策推進に向けた事業取組①(平成30(2018)年度)

<b>事業名</b>	看護師養成施設運営事業
<b>計 画 (Plan)</b>	
<b>指標</b>	質の高い看護師を育成し、市内医療機関等に供給すること。
<b>現状</b>	県内准看護師養成学校の閉校により、学生の確保が難しくなっています。 卒業生の看護師国家試験の合格率は平成25年度から平成29年度まで5年連続で100%を達成しています。 また、平成7年の開校以来、卒業生の市内医療機関等への就職率は、毎年50%以上となっています。
<b>行動計画</b>	学生の確保に努めるとともに、引き続き、卒業生の看護師国家試験の合格率100%を目指します。 また、市内医療機関等への就職率の向上を図ります。
<b>具体的な取組内容</b>	集中指導及び補修講義の実施等により、受験対策強化を図ります。 また、市内医療機関等に就職することが条件となっている推薦入学制度の活用を図ります。

## 実施結果 (Do)

<b>本市施策推進に向けた活動実績</b>	<p><b>【指標1関連】</b> 平成30年度看護師国家試験の合格率を高めるために、きめ細かい指導を行い、学生に対する個別指導などを実施し、合格率100%を達成しました。</p> <p><b>【指標2関連】</b> 市内医療機関の紹介の機会を設け、卒業生に職場の状況を伝えてもらう等、学生に市内医療機関への就職を促しました。</p> <p><b>【その他】</b></p>
-----------------------	---

## 評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	卒業生の看護師国家試験合格率	目標値	100	100	100	100	—	%
	説明 看護師国家試験の合格率 ※個別設定値:95(現状値の95%)	実績値		100	100			
2	市内医療機関等への就職率	目標値	55	60	60	60	—	%
	説明 市内医療機関等への就職率	実績値		61				

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

取組の成果もあり、目標値を達成することができました。今後も、引き続き、目標値を達成するよう取組を進めます。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A	学生に対するきめ細かい指導を行った結果、6年連続で卒業生全員が看護師国家試験に合格したことは高く評価できるため。また、市内医療機関への就職率についても、目標を達成し、本市の看護師人材供給に寄与したため。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	68,641	78,085	80,636	128,980	—	千円
	説明 直接事業費—直接自己収入	実績値		78,278				

行政サービスコストに対する達成度	2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上
------------------	----	--

### 法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

経費の削減に努めましたが、人件費の上昇等により、行政サービスコストは目標値を達成できませんでした。

本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(2)	行政サービスコストの目標値の範囲を超えたが、本市施策推進に関する指標の目標値を達成し、本市の看護師確保対策に寄与したため。

## 改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市看護師養成確保事業団	所管課	健康福祉局保健医療政策室
----------	----------------------	-----	--------------

本市施策推進に向けた事業取組②(平成30(2018)年度)	
事業名	看護職確保対策事業
計 画 (Plan)	
指標	市民に看護を身近なものとして理解していただくとともに、看護職を目指す動機付けを行うこと。
現状	毎年開催している「一日看護体験」については、看護実技体験及び進路相談等を実施しており、参加者から好評を得ています。県内の准看護師養成学校が全て閉校となったため、准看護師養成学校の学生の参加は減少が見込まれることから、「一日看護体験」の実施について広く一般市民の参加を募る必要があります。
行動計画	「一日看護体験」については、さらに多くの方に参加いただくよう、高校・中学校等及び県外近隣の准看護師養成学校に対し、日程のPRを行うとともに、HPや市政だより等において、一般市民に広報します。また、「一日看護体験」の内容の充実を図ります。
具体的な取組内容	高校・中学校及び近隣の准看護師養成学校を訪問し、PRを行うとともに、HPや案内チラシ、市政だより等で、一日看護体験の日程及び内容の周知を行います。

実施結果 (Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	<b>【指標1関連】</b> 一日看護体験については、高校・中学校等及び県外近隣の准看護師養成学校に対し、日程のPRを行うとともに、HPや市政だより等において、一般市民に広報しました。
	<b>【指標2関連】</b> 高校・中学校及び近隣の准看護師養成学校を訪問又は本校学生の出身校への案内の送付など、積極的にPRを行いました。
	<b>【その他】</b>

## 評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	一日看護体験参加者数	目標値	/	60	60	60	-	人
	説明 一日看護体験の参加者数	実績値		50	68			
2	准看護師養成学校及び高校・中学校等への案内数	目標値	/	40	40	40	-	件
	説明 一日看護体験参加促進のための案内 ※個別設定値:38(現状値の95%)	実績値		40	41			

指標1 に対する達成度	<b>a</b>	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満  ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	<b>a</b>	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

一日看護体験については、市政だより、町内会掲示板等の活用、准看護学校への周知などを行い、目標を達成することができました。准看護師養成学校及び高校・中学校等への案内については、県内及び都内の看護学校が減少していること及び、准看護学校が、卒業生を正看護師に養成する系列校を設置している場合には、本校のPRが難しいですが、積極的に訪問を行い、目標を達成することができました。

<div style="font-size: 48px; color: green;">➔</div> 本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<b>A</b>	准看護師養成学校及び高校・中学校等への案内について、目標を達成するなど、一日看護体験のPRを積極的に行った結果、参加人数が68人となり、目標値を上回り、看護職確保対策の推進に寄与することができたため。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	/	1,420	1,420	1,420	-	千円
	説明 直接事業費-直接自己収入	実績値		1,420	1,421			

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

印刷製本費等の経費について削減に努めましたが、人件費の上昇等により、目標を達成することができませんでした。

<div style="font-size: 48px; color: green;">➔</div> 本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
	(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	<b>(2)</b>	行政サービスコストの目標値の範囲を超えたが、本市施策推進に関する指標を達成することにより、看護師確保対策に寄与したため。

## 改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	<b>I</b>	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止  引き続き、近隣の学校に案内を積極的に行うとともに、市政だよりへの掲載を市に依頼することにより、一日看護体験参加者の確保を図ります。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市看護師養成確保事業団	所管課	健康福祉局保健医療政策室
----------	----------------------	-----	--------------

本市施策推進に向けた事業取組③(平成30(2018)年度)	
事業名	看護職資質向上事業
計 画 (Plan)	
指標	看護師の資質を向上させるため、実習病院の実習指導者等に対して、効果的な研修を行うこと。
現状	医療の高度化、多様化に伴い看護師の資質向上が求められており、時勢にあった研修が必要となっています。
行動計画	医師会、看護協会、助産師会等と連携・協力しながら研修会の内容の充実を図るとともに、研修テーマについては時勢にあったものを取り入れて実施します。
具体的な取組内容	昨年度のアンケート結果を踏まえながら、本校教員と実習指導者のミーティングを適宜行い、研修内容の充実を図ります。

実施結果 (Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	<b>【指標1関連】</b> 現場の看護師等からの聞き取りなどから、関心のあるテーマ(PNS:パートナーシップ・ナーシング・システム)を選択しました。
	<b>【指標2関連】</b> 業界誌などに情報発信を行っている、当該テーマの先端を担う方に講師を依頼しました。
	<b>【その他】</b>



## 評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	実習病院の実習指導者等研修参加者数	目標値	29	45	45	45	-	人
	説明 研修参加者数	実績値		63				
2	研修参加者の満足度(5段階評価で4以上)	目標値	89	93	93	93	-	%
	説明 アンケートによる満足度調査の結果	実績値		95				

指標1 に対する達成度	<b>a</b>	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満  ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	<b>a</b>	

**法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)**

時機に適應した話題で、その先駆者を講師に招いたことから、前年度の参加者数を上回り目標を達成できました。また、アンケートの結果から意見・課題等の集約ができました。

<div style="font-size: 24px; color: green;">➔</div> 本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<b>A</b>	現役の看護師が関心を持っている看護技術を適確に把握することによって、参加者を増加させ、看護師の資質向上に寄与したことは評価できるため、また、満足度についても、先駆者を招いたことにより目標を達成できたため。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	1,318	1,318	1,318	1,318	-	千円
	説明 直接事業費-直接自己収入	実績値		1,344				

行政サービスコストに対する達成度	<b>2)</b>	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上
------------------	-----------	--

**法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)**

経費の削減に努めましたが、人件費の上昇等により、目標を達成することができませんでした。

<div style="font-size: 24px; color: green;">➔</div> 本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
	(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	<b>(2)</b>	行政サービスコストの目標値の範囲を超えたが、本市施策推進に関する指標を達成するとともに、最先端の看護技術を講義テーマとすることによって、看護職の資質向上に寄与したため。

## 改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止
	I	引き続き、実習指導者等の関心が高い看護技術について情報収集し、それに適した講師を招くことにより、研修参加者数及び満足度の向上を図ります。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市看護師養成確保事業団	所管課	健康福祉局保健医療政策室
----------	----------------------	-----	--------------

### 3. 経営健全化に向けた取組①(平成30(2018)年度)

項目名	入学検定料の確保
<b>計 画 (Plan)</b>	
指標	入学検定料の収入確保に努めること。
現状	県内准看護師養成学校の閉校及び進学を希望する准看護師における川崎看護専門学校の現行課程に対するニーズの低下等から、入学希望者が減少しており、入学検定料についても減収となっています。なお、平成32年度末に閉校を予定しているため、平成30年度(平成31年度入学)が最後の学生募集となります。
行動計画	現状を踏まえながら、自主財源(入学検定料)の確保に努めるため、HPによる広報や、県外近隣の准看護師養成学校に対する川崎看護専門学校のPRを積極的に行い、受験者数の確保を図ります。
具体的な取組内容	学校のPR、一日看護体験の実施、推薦入学の活用等、あらゆる面で受験者数の確保を図ります。

### 実施結果 (Do)

経営健全化に向けた活動実績	<b>【指標1関連】</b> HPによる広報や、県外近隣の准看護師養成学校や本校学生の出身准看護学校に対し、川崎看護専門学校のPRを積極的に行い、受験者数の確保を図りました。
	<b>【その他】</b>

## 評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	受験者数(翌年度入学)	目標値	/	22	-	-	-	人
	説明 学校の受験者数(翌年度入学対象) ※個別設定値:21(現状値の95%)	実績値	22	24				
<b>指標1 に対する達成度</b>		<b>a</b>	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
<b>法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)</b>								
県内の准看護師学校は全ては閉校していることから、県外の准看護師学校への案内等を拡大することで、入学者の確保に努めるとともに、本校の卒業生による出身准看護師養成学校への広報に努めました。								

➔

**本市による評価**

達成状況	区分	区分選択の理由
A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A	県内では新規の准看護師が出ない中、県外の准看護師学校への案内を積極的に行ったこと等により目標を達成できたため。

## 改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	III	2020年度末に閉校が予定されていることから、取組を中止します。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市看護師養成確保事業団	所管課	健康福祉局保健医療政策室
----------	----------------------	-----	--------------

経営健全化に向けた取組②(平成30(2018)年度)	
項目名	入学料及び授業料の確保
計 画 (Plan)	
指標	安定的な学校運営を維持するために必要な入学料及び授業料の収入確保に努めること。
現状	県内准看護師養成学校の閉校及び進学を希望する准看護師における川崎看護専門学校の現行課程に対するニーズの低下等から、入学者数が減少しており、入学料及び授業料についても減収となっています。なお、平成32年度末に閉校を予定しているため、平成30年度(平成31年度入学)が最後の学生募集となります。
行動計画	現状を踏まえながら、自主財源(入学金及び授業料)の確保に努めるため、HPIによる広報や、県外近隣の准看護師養成学校に対する川崎看護専門学校のPRを積極的に行い、入学者数の確保を図ります。
具体的な取組内容	受験者数の確保に向けた取組を行うことで、入学者数についても確保を図ります。

実施結果 (Do)	
経営健全化に向けた活動実績	<b>【指標1関連】</b> HPIによる広報や、県外近隣の准看護師養成学校や本校学生の出身准看護学校に対し、川崎看護専門学校のPRを積極的に行い、受験者数の確保を図ることで入学者数の確保に繋がりました。
	<b>【その他】</b>

## 評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	翌年度入学人数	目標値	/	15	-	-	-	人
	説明 学校の入学人数(翌年度) ※個別設定値:14(現状値の95%)	実績値	15	11				
<b>指標1 に対する達成度</b>		<b>C</b>	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

2020年度末に閉校が予定されていることから、2年間で確実に卒業できる学生を選抜したこと及び併願した4年制大学への進学を希望した合格者もいたため、目標を下回りました。



区分	区分選択の理由
<b>達成状況</b>	<b>C</b>
A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	目標値の15人に対し、実績値は11人と下回ったが、2年間で確実に卒業できることを優先した結果であり、適切な選抜を行ったと考えられるため。

## 改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	<b>III</b>	2020年度末に閉校が予定されていることから取組を中止します。

経営健全化に向けた取組③(平成30(2018)年度)	
項目名	管理費コストの増加抑制
計 画 (Plan)	
指標	事務効率化などにより、管理費コストの上昇を抑制すること。
現状	教職員の人件費増等により、管理費コストが増加傾向となっています。
行動計画	人件費の額は増加していますが、事務の効率化により、管理費コスト全体の増加を抑制します。
具体的な取組内容	ペーパーレス化をすすめる等の業務改善を行い、事務の効率化及び管理費コストの増加を抑制します。

実施結果 (Do)	
経営健全化に向けた活動実績	【指標1関連】 光熱水費や、ペーパーレス化等による消耗品費等の経費節減に努めました。
	【その他】

## 評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	管理費コスト額	目標値	/	9,022	9,022	9,022	-	千円
	説明 管理費コスト額	実績値	9,171	8,802				
<b>指標1 に対する達成度</b>		<b>a</b>	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

賃借料や消耗品費等の経費節減に努めた結果、目標値を達成することができました。



達成状況	区分	区分選択の理由
<b>A</b>	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	経費節減に努めた結果、目標値を達成することができたため。

## 改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	<b>I</b>	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止
		光熱水費については、これ以上の削減は難しいことから、消耗品費について、削減可能なものを点検し、削減に取り組んでいきます。

#### 4. 業務・組織に関する取組①(平成30(2018)年度)

項目名	適正な業務運営
<b>計 画 (Plan)</b>	
指標	コンプライアンスを順守すること
現状	コンプライアンスに反する事案はありません。
行動計画	今後についても、コンプライアンス順守を共通認識とするとともに、適切なチェック体制を維持していきます。
具体的な取組内容	教職員によるミーティング及びコンプライアンス順守に関する研修を適宜行うとともに、適切なチェック体制を維持します。

#### 実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	【指標1関連】 職員を外部の研修に参加させるなど、コンプライアンス意識の向上を図りました。
	【その他】



## 評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値	/	0	0	0	-	件
	説明 コンプライアンスに反する事案の発生件数	実績値	0	0				
<b>指標1 に対する達成度</b>		<b>a</b>	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

コンプライアンスに反することのないよう、今後も引き続き意識の向上を図ります。



達成状況	区分	区分選択の理由
<b>A</b>	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	コンプライアンスに反する事実はなく、また、研修等により職員の意識を高めているため。

## 改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	<b>I</b>	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止 職員を外部の研修に参加させ、職員全員に伝達させることにより、コンプライアンス向上に努めます。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市看護師養成確保事業団	所管課	健康福祉局保健医療政策室
----------	----------------------	-----	--------------

業務・組織に関する取組②(平成30(2018)年度)	
項目名	適切な業務運営
計 画 (Plan)	
指標	適切に監査を実施すること
現状	当法人は監事2名を配置するとともに、公認会計士を活用し、監査体制を確立しています。
行動計画	引き続き、適正な監査を実施します。
具体的な取組内容	適正な監査を行うとともに、指摘事項があった場合は迅速に対応します。

実施結果 (Do)	
業務・組織に関する活動実績	<b>【指標1関連】</b> 監事2名(うち1名は外部委員の税理士)を登用し、監査体制を整備しています。 また、公認会計士に、決算書類の監査を委託しています。
	<b>【その他】</b>

## 評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位
1	適正な監査の実施	目標値	/	1	1	1	-	回
	説明 適正な監査の実施	実績値		1	1			
<b>指標1 に対する達成度</b>		<b>a</b>	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

引き続き、専門家による監査体制を維持していきます。

	区分	区分選択の理由
<div style="background-color: #2e7d32; color: white; padding: 10px; display: inline-block;"> <b>本市による評価</b> </div>	<b>達成状況</b> A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<b>A</b> 適切な監査を実施していると認められるため。

## 改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I	引き続き、専門家による監査を実施します。

## ●法人情報

### (1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
<b>正味財産増減計算書</b>	(一般正味財産増減の部)				
	経常収益	124,856			
	経常費用	134,296			
	当期経常増減額	△9,440			
	当期一般正味財産増減額	△9,440			
	(指定正味財産増減の部)				
当期指定正味財産増減額					
正味財産期末残高	170,663				
<b>貸借対照表</b>	総資産	224,042			
	流動資産	5,138			
	固定資産	218,904			
	総負債	53,379			
	流動負債	8,325			
	固定負債	45,054			
	正味財産	170,663			
	一般正味財産	△32,337			
指定正味財産	203,000				
<b>エラーチェック</b>		OK	OK	OK	OK
本市の財政支出等(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
補助金		89,845			
委託料					
指定管理料					
貸付金(年度末残高)					
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)					
出捐金(年度末状況)		140,000			
(市出捐率)		68.9%			
財務に関する指標		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		61.7%			
正味財産比率(正味財産/総資産)		76.2%			
正味財産利益率(当期正味財産増減額/正味財産)		-5.5%			
総資産回転率(経常収益/総資産)		55.7%			
収益に占める市の財政支出割合 (補助金+委託料+指定管理料)/経常収益)		72.0%			

#### 法人コメント

#### 本市コメント

現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
学生数の減少により、授業料等の収入が減少し、収益性が悪化している。それに伴い、収益に占める市の財政支出割合についても高くなっている。	令和2年度末をもって、川崎看護専門学校を閉校し、法人についても解散する方向性としていることから、事業コストの縮減に努めるとともに、閉校及び解散に向けた取組を進めます。	経営コストの削減に引き続き取り組むとともに、閉校までの学校運営については確実に行っていただきたい。

### (2)役員・職員の状況(令和1年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	2		2	5		1
職員	9		3	1		

#### 【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解

・理由

川崎看護専門学校長が法人の副理事長を兼ねているが、教員としての採用時に、元市立病院の看護職員だったことが理由である。なお、教員は看護師資格を保持していることが必須である。

・今後の方向性

令和2年度末をもって閉校する予定であること及び閉校までの間は学校を安定して運営する必要があることから、引き続き現行の体制を維持する方向とする。

# 経営改善及び連携・活用に関する方針

(平成30(2018)年度～平成33(2021)年度)

<b>法人名(団体名)</b> 川崎市看護師養成確保事業団	<b>所管課</b>	健康福祉局保健医療政策室
-------------------------------	------------	--------------

## 経営改善及び連携・活用に関する方針

### 法人の施策概要

**(1) 法人の事業概要**

- ・看護師養成施設の設置、管理及び運営に関する事業
- ・看護職の確保に関する事業
- ・看護職の資質向上に関する事業

**(2) 法人の設立目的・ミッション**

川崎市、(公社)川崎市医師会、(公社)川崎市病院協会、(公社)川崎市看護協会との提携及び協調のもとに、看護師の養成並びに看護職員の確保及び看護職員の資質向上のための事業を行うことにより、川崎市域における医療供給体制の充実を図り、もって市民の健康の保持、増進及び公衆衛生の向上に資すること。

### 本市施策における法人の役割

看護師の確保を促進させるために必要な措置を講じることは、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」によって、地方公共団体の努力義務と規定されており、本市では看護職員の新規養成、定着促進及び再就業支援を柱に看護師の養成・確保に取り組んでいます。

川崎市看護師養成確保事業団は、(公社)川崎市医師会、(公社)川崎市病院協会、(公社)川崎市看護協会との提携及び協調のもとに、主に川崎看護専門学校を運営し、准看護師を正看護師に養成する事業を行い、本市の看護職員の新規養成の一翼を担う役割を果たしています。

	市総合計画における位置づけ	基本政策	施策
法人の取組と関連する計画		生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	医療供給体制の充実・強化
	分野別計画	かわさき保健医療プラン	

### 現状と課題

神奈川県准看護師養成停止の方針に伴い、県内の准看護師養成学校が閉校していることにより、川崎看護専門学校の学生確保が困難になっていること及び平成28年度に実施した市内就業准看護師実態調査において、正看護師になるために進学を志望する者が少なく、進学志望者の中でも大半が通信教育を希望している結果であったことから、川崎看護専門学校の現行課程に対するニーズが低下しています。

そのため、川崎看護専門学校のあり方について検討し、運営法人である川崎市看護師養成確保事業団への補助金を平成32年度末をもって廃止することとしました。

今後は、運営法人が川崎看護専門学校を閉校すること及び法人解散する方向性であることを踏まえ、閉校までの間、川崎看護専門学校を安定して運営するための調整を行う必要があります。

### 取組の方向性

**(1) 経営改善項目**

平成32年度末の閉校時には在学学生を確実に卒業させる必要があることから、教員の確保など現行の運営体制を維持し、閉校までの間、川崎看護専門学校の安定した運営に取り組めます。

**(2) 本市における法人との連携・活用**

閉校までの間、川崎看護専門学校の安定した運営を図るため、運営法人の財務状況を踏まえながら、必要な補助金を交付することを基本とします。また、閉校後の教職員の再就職について配慮し、卒業証明書発行等一部の法人業務の継承について検討するとともに、法人解散について、円滑に進めるため運営法人と調整を行います。

## 1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画

### 4カ年計画の目標

看護師養成施設運営事業として、准看護師を正看護師に養成するにあたり、川崎看護専門学校を閉校すること及び法人解散する方向性であることを踏まえて、教員の確保など現行の運営体制を維持し、閉校までの間、川崎看護専門学校の安定した運営に取り組むこと。看護職確保対策事業として、市民に看護を身近なものとして理解していただくとともに、看護職を目指す動機付けを行うため、看護に関する普及・啓発に取り組むこと。看護職資質向上事業として、実習病院の実習指導者等に対して、効果的な研修を行うこと。

### 本市施策推進に向けた事業計画

取組No.	事業名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	看護師養成施設運営事業	卒業生の看護師国家試験合格率	100	100	100	100	—	%	
		市内医療機関等への就職率	55	60	60	60	—	%	
		事業別の行政サービスコスト	68,641	78,085	80,636	128,980	—	千円	
②	看護職確保対策事業	一日看護体験参加者数	50	60	60	60	—	人	
		准看護師養成学校及び高校・中学校等への案内数	40	40	40	40	—	件	
		事業別の行政サービスコスト	1,420	1,420	1,420	1,420	—	千円	
③	看護職資質向上事業	実習病院の実習指導者等研修参加者数	29	45	45	45	—	人	
		研修参加者の満足度(5段階評価で4以上)	89	93	93	93	—	%	
		事業別の行政サービスコスト	1,318	1,318	1,318	1,318	—	千円	

### 経営健全化に向けた事業計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	入学検定料の確保	受験者数(翌年度入学)	22	22	—	—	—	人	
②	入学料及び授業料の確保	翌年度入学者数	15	15	—	—	—	人	
③	管理費コストの増加抑制	管理費コスト額	9,171	9,022	9,022	9,022	—	千円	

### 業務・組織に関わる計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	適正な業務運営	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	—	件	
②	適切な業務運営	適正な監査の実施	1	1	1	1	—	回	

## 2. 本市施策推進に向けた事業計画①

<b>事業名</b>		看護師養成施設運営事業						
<b>指標</b>		質の高い看護師を育成し、市内医療機関等に供給すること。						
<b>現状</b>		県内准看護師養成学校の閉校により、学生の確保が難しくなっています。 卒業生の看護師国家試験の合格率は平成25年度から平成29年度まで5年連続で100%を達成しています。 また、平成7年の開校以来、卒業生の市内医療機関等への就職率は、毎年50%以上となっています。						
<b>行動計画</b>		学生の確保に努めるとともに、引き続き、卒業生の看護師国家試験の合格率100%を目指します。 また、市内医療機関等への就職率の向上を図ります。						
スケジュール		現状値		目標値			単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	卒業生の看護師国家試験合格率	100	100	100	100	—	%
		説明 看護師国家試験の合格率						
	2	市内医療機関等への就職率	55	60	60	60	—	%
		説明 市内医療機関等への就職率						
	3	事業別の行政サービスコスト	68,641	78,085	80,636	128,980	—	千円
		説明 直接事業費—直接自己収入						

## 本市施策推進に向けた事業計画②

<b>事業名</b>		看護職確保対策事業						
<b>指標</b>		市民に看護を身近なものとして理解していただくとともに、看護職を目指す動機付けを行うこと。						
<b>現状</b>		毎年開催している「一日看護体験」については、看護実技体験及び進路相談等を実施しており、参加者から好評を得ています。 県内の准看護師養成学校が全て閉校となったため、准看護師養成学校の学生の参加は減少することが見込まれることから、「一日看護体験」の実施について広く一般市民の参加を募る必要があります。						
<b>行動計画</b>		「一日看護体験」については、さらに多くの方に参加いただくよう、高校・中学校等及び県外近隣の准看護師養成学校に対し、日程のPRを行うとともに、HPや市政だより等において、一般市民に広報します。また、「一日看護体験」の内容の充実を図ります。						
スケジュール		現状値		目標値			単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	一日看護体験参加者数	50	60	60	60	—	人
		説明 一日看護体験の参加者数						
	2	准看護師養成学校及び高校・中学校等への案内数	40	40	40	40	—	件
		説明 一日看護体験参加促進のための案内						
	3	事業別の行政サービスコスト	1,420	1,420	1,420	1,420	—	千円
		説明 直接事業費—直接自己収入						

### 本市施策推進に向けた事業計画③

<b>事業名</b>		看護職資質向上事業						
<b>指標</b>		看護師の資質を向上させるため、実習病院の実習指導者等に対して、効果的な研修を行うこと。						
<b>現状</b>		医療の高度化、多様化に伴い看護師の資質向上が求められており、時勢にあった研修が必要となっています。						
<b>行動計画</b>		医師会、看護協会、助産師会等と連携・協力しながら研修会の内容の充実を図るとともに、研修テーマについては時勢にあったものを取り入れて実施します。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	実習病院の実習指導者等研修参加者数	29	45	45	45	—	人
		説明 研修参加者数						
	2	研修参加者の満足度(5段階評価で4以上)	89	93	93	93	—	%
		説明 アンケートによる満足度調査の結果						
	3	事業別の行政サービスコスト	1,318	1,318	1,318	1,318	—	千円
		説明 直接事業費－直接自己収入						

### 3. 経営健全化に向けた計画①

<b>項目名</b>		入学検定料の確保						
<b>指標</b>		入学検定料の収入確保に努めること。						
<b>現状</b>		県内准看護師養成学校の閉校及び進学を希望する准看護師における川崎看護専門学校の現行課程に対するニーズの低下等から、入学希望者が減少しており、入学検定料についても減収となっています。なお、平成32年度末に閉校を予定しているため、平成30年度(平成31年度入学)が最後の学生募集となります。						
<b>行動計画</b>		現状を踏まえながら、自主財源(入学検定料)の確保に努めるため、HPによる広報や、県内近隣の准看護師養成学校に対する川崎看護専門学校のPRを積極的に行い、受験者数の確保を図ります。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	受験者数(翌年度入学)	22	22	—	—	—	人
		説明 学校の受験者数(翌年度入学対象)						



## 経営健全化に向けた計画②

<b>項目名</b>		入学料及び授業料の確保							
<b>指標</b>		安定的な学校運営を維持するために必要な入学料及び授業料の収入確保に努めること。							
<b>現状</b>		県内准看護師養成学校の閉校及び進学を希望する准看護師における川崎看護専門学校の現行課程に対するニーズの低下等から、入学者数が減少しており、入学料及び授業料についても減収となっています。なお、平成32年度末に閉校を予定しているため、平成30年度(平成31年度入学)が最後の学生募集となります。							
<b>行動計画</b>		現状を踏まえながら、自主財源(入学金及び授業料)の確保に努めるため、HPIによる広報や、県外近隣の准看護師養成学校に対する川崎看護専門学校のPRを積極的に行い、入学者数の確保を図ります。							
<b>スケジュール</b>		現状値		目標値			単位		
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度			
<b>指標</b>	1	翌年度入学者数		15	15	—	—	—	人
		説明	学校の入学者数(翌年度)						

## 経営健全化に向けた計画③

<b>項目名</b>		管理費コストの増加抑制							
<b>指標</b>		事務効率化などにより、管理費コストの上昇を抑制すること。							
<b>現状</b>		教職員の人件費増等により、管理費コストが増加傾向となっています。							
<b>行動計画</b>		人件費の額は増加していますが、事務の効率化により、管理費コスト全体の増加を抑制します。							
<b>スケジュール</b>		現状値		目標値			単位		
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度			
<b>指標</b>	1	管理費コスト額		9,171	9,022	9,022	9,022	—	千円
		説明	管理費コスト額						

#### 4. 業務・組織に関する計画①

<b>項目名</b>		適正な業務運営						
<b>指標</b>		コンプライアンスを順守すること						
<b>現状</b>		コンプライアンスに反する事案はありません。						
<b>行動計画</b>		今後についても、コンプライアンス順守を共通認識とするとともに、適切なチェック体制を維持していきます。						
<b>スケジュール</b>		現状値		目標値			単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
<b>指標</b>	1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	—	件
	説明	コンプライアンスに反する事案の発生件数						

#### 業務・組織に関する計画②

<b>項目名</b>		適切な業務運営						
<b>指標</b>		適切に監査を実施すること						
<b>現状</b>		当法人は監事2名を配置するとともに、公認会計士を活用し、監査体制を確立しています。						
<b>行動計画</b>		引き続き、適正な監査を実施します。						
<b>スケジュール</b>		現状値		目標値			単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
<b>指標</b>	1	適正な監査の実施	1	1	1	1	—	回
	説明	適正な監査の実施						

法人名(団体名)	川崎市看護師養成確保事業団	所管課	健康福祉局保健医療政策室
----------	---------------	-----	--------------

(参考)本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画に設定する指標一覧

本市施策推進に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	平成32(2020)年度	
①看護師養成施設運営事業				
1	算出方法 卒業生の看護師国家試験合格率 看護師国家試験合格者数 / 受験者数	100%	100%	平成25年度から平成29年度まで5年連続で合格率100%を達成しており、今後も全員合格を目指すものです。(平成26年度～29年度平均値:100%)
2	算出方法 市内医療機関等への就職者数 / 卒業者数	55%	60%	過去4年間の実績値と同等とするとともに、かわさき保健医療プランにおける市立看護短期大学の平成32年度新卒者市内就業率の目標値(59.1%)と同等程度の目標として定めたものです。(平成26年度～29年度平均値:60%)
3	算出方法 (事業別経常費用) - (本市補助金以外の事業別経常収益)	68,641千円	128,980千円	閉校までの間、学校運営の安定化を重点に取り組むために必要な補助金を交付することを基本として、今後、在校生の減少に伴う経常収益の減額が見込まれること及び、教職員人件費が多くを占める経常費用の削減は困難なことを勘案し目標値を定めたものです。(平成26年度～29年度平均値:63,808千円)
②看護職確保対策事業				
1	算出方法 1日看護体験参加者数	50人	60人	県内の准看護師養成学校が全て閉校となったことから、准看護師養成学校の学生の参加は減少することが見込まれるが、広く一般市民に周知し、参加者の増を目指す目標値を設定したものです。(平成26年度～29年度平均値:56人)
2	算出方法 案内数	40件	40件	県内の准看護師養成学校が全て閉校となったことから、県外准看護師養成学校及び高校・中学校等への案内を増やすことにより、平成29年度の実績値に達するよう目標値を設定したものです。(平成26年度～29年度平均値:43件)
3	算出方法 (事業別経常費用) - (本市補助金以外の事業別経常収益)	1,420千円	1,420千円	本事業については、事業別経常収益はなく、経常費用が平成29年度の実績額を上回ることはないよう目標値を設定したものです。(平成26年度～29年度平均値:1,412千円)

③看護職資質向上事業

1	算出方法	実習病院の実習指導者等研修参加者数	法人の目的である、看護師の資質向上の取組として、実習病院の実習指導者等に対して研修会を実施していますが、より多くの指導者の資質を向上するため、研修参加者数を使用するものです。	29人	45人	過去4年間の平均値を上回る参加者を目標値とし、指導者の資質向上を図るものです。 (平成26年度～29年度平均値:40人)
	算出方法	研修参加者数				
2	算出方法	研修参加者の満足度(5段階評価で4以上)	次回以降の研修をより効果的なものにするため、アンケートにより研修内容の満足度を使用するものです。	89%	93%	過去4年間の平均値を上回る満足度を目標値とするものです。 (平成26年度～29年度平均値:91%)
	算出方法	研修参加者に行うアンケートのうち、研修内容について、『大変良かった』又は『良かった』と回答した者の割合				
3	算出方法	事業別の行政サービスコスト	看護職資質向上事業に係る本市への財政依存度を表す指標として、本市財政支出額を使用するものです。	1,318千円	1,318千円	本事業については、事業別経常収益はなく、経常費用が平成29年度の実績額を上回ることのないよう目標値を設定したものです。 (平成26年度～29年度平均値:1,318千円)
	算出方法	(事業別経常費用)－(本市補助金以外の事業別経常収益)				

経営健全化に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	

①入学検定料の確保

1	算出方法	受験者数(翌年度入学)	入学検定料は法人の収入に直結するため、経営健全化に資するものとして受験者数を使用するものです。	22人	22人	県内准看護師養成学校の閉校及び進学を希望する准看護師における川崎看護専門学校の現行課程に対するニーズの低下等から、入学希望者が減少傾向にあることを踏まえ、現状維持を目標値としたものです。 (平成26年度～29年度平均値:37人)
	算出方法	受験者数				

②入学科及び授業料の確保

1	算出方法	翌年度入学者数	入学科及び授業料は法人の収入に直結するため、経営健全化に資するものとして入学者数を使用するものです。	15人	15人	県内准看護師養成学校の閉校及び進学を希望する准看護師における川崎看護専門学校の現行課程に対するニーズの低下等から、入学者数が減少傾向にあることを踏まえ、平成30年度が最後の学生募集となることから、現状維持を目標値としたものです。 (平成26年度～29年度平均値:29人)
	算出方法	入学者数				

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	平成32(2020)年度	

③管理費コストの増加抑制

1	算出方法	管理費コスト額	法人における事業費以外の費用に係る本市への財政依存度を表す指標として、本市財政支出額を使用するものです。	9,171千円	9,022千円	事務の効率化により、平成29年度の実績値よりも費用を抑制することを目標とするものです。 (平成26年度～29年度平均値:9,082千円)
	算出方法	管理費決算額				

業務・組織に関わる計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	平成32(2020)年度	
①適正な業務運営				
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0件	0件	違反件数が皆無であることを目標としたものです。 (平成26年度～29年度平均値:0件)
	算出方法 コンプライアンス違反件数			
2	適正な監査の実施	1回	1回	適正な経理処理及び財産管理に資するため、毎年の監査の実施を目標としたものです。 (平成26年度～29年度平均値:1回)
	算出方法 監査実施件数			

# 資金計画表

[ 平成30年度～平成33年度 ]

法人名： 川崎市看護師養成確保事業団

(単位:千円)

項目			決算	予算	計画		
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
経常収支	収入	事業収入	27,872	29,366	29,140	13,219	
		営業債権増加高	18				
		補助金収入	80,550	89,845	92,396	140,740	
		雑収入	226	246	53	20	
		基本財産収入	331	331	331	331	
		県補助金収入	15,689	15,762	14,865	14,590	
		<b>経常収入合計</b>	<b>124,686</b>	<b>135,550</b>	<b>136,785</b>	<b>168,900</b>	<b>0</b>
	支出	看護師養成施設運営事業	108,852	110,481	111,882	143,704	
		看護師確保対策事業	1,420	1,420	1,420	1,420	
		看護師資質向上事業	1,318	1,318	1,318	1,318	
管理費		9,171	9,022	9,022	9,022		
	<b>経常支出合計</b>	<b>120,761</b>	<b>122,241</b>	<b>123,642</b>	<b>155,464</b>	<b>0</b>	
<b>経常収支</b>			<b>3,925</b>	<b>13,309</b>	<b>13,143</b>	<b>13,436</b>	<b>0</b>
投資収支	固定資産売却収入	3,937	0	0	0		
	固定資産取得支出	7,437	13,309	13,143	13,436		
	<b>投資等収支</b>	<b>△ 3,500</b>	<b>△ 13,309</b>	<b>△ 13,143</b>	<b>△ 13,436</b>	<b>0</b>	
財務収支	借入れによる収入	0	0	0	0		
	借入金償還による支出	0	0	0	0		
	利息/配当金の支払	0	0	0	0	3,912	
	<b>財務収支</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>△ 3,912</b>	
現金預金増加高			425	0	0	0	△ 3,912
期首現金預金			3,487	3,912	3,912	3,912	3,912
期末現金預金			3,912	3,912	3,912	3,912	0